

報告書抄録

ふりがな	あさかしまいぞうぶんかざいはくつちょうさほうこくしゅうほう10							
書名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告集報10							
副書名	向山遺跡第9地点 宮原・塚越遺跡第5地点 宮台・宮原遺跡第14地点							
シリーズ名	朝霞市埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	第55集							
編著者名	照林敏郎・百瀬貴子							
編集機関	朝霞市教育委員会文化財課							
所在地	〒351-0007 埼玉県朝霞市岡2丁目7番22号（朝霞市博物館内）TEL048-463-2927							
発行年月日	西暦2022年（令和4年）3月30日							
ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
		市町村	遺跡番号					
むかいやまいせき 向山遺跡 第9地点	さいたまけんあさか し 埼玉県朝霞市 おかしちようめ 岡3丁目569-1 の一部	11027	008-047	35度 48分 31秒	139度 36分 15秒	2016年 5月23日～ 2016年 5月31日	26.077㎡	記録保存調査
みやほら つかごし いせき 宮原・塚越遺跡 第5地点	さいたまけんあさか し 埼玉県朝霞市 ねぞしだいちようめ 根岸台2丁目 1152-1の一部	11027	008-053	35度 48分 20秒	139度 36分 8秒	2015年 3月4日～ 2015年 3月13日	93.77㎡	記録保存調査
みやだい みやはら いせき 宮台・宮原遺跡 第14地点	さいたまけんあさか し 埼玉県朝霞市 ねぞしだいちようめ 根岸台2丁目 1147、1148- 1、1150-1の かくいちぶ 各一部	11027	008-054	35度 48分 24秒	139度 36分 10秒	2017年 8月28日～ 2017年 9月30日	271.49㎡	記録保存調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構		主な遺物		特記事項
向山遺跡第9地点	集落跡	弥生時代 ～ 古墳時代		住居跡1軒、 土坑1基		弥生土器～土師器、須恵 器、石製品		
宮原・塚越遺跡第5地点	集落跡	平安時代		住居跡2軒		土師器、須恵器、石製品、 鉄製品		線刻入石製紡 錘車・刀子
		時期不明		土坑2基、 ピット20基				
宮台・宮原遺跡第14地点	集落跡	縄文時代		炉穴14基		縄文土器、石製品		炉穴群の発見
		古墳時代		住居跡1軒		土師器、鉄製品、石製品		
		平安時代		住居跡1軒		土師器、須恵器、鉄製品、 石製品		
		時期不明		土坑2基、 ピット248基				
要約	<p>向山遺跡第9地点では、弥生時代後期末～古墳時代前期初頭の住居跡1軒、住居跡内からは枕石が残された粘土板炉や土坑の一部を凸帯状に囲む高まりを検出した。また、住居跡床面からは壺の口縁部が出土した。</p> <p>宮原・塚越遺跡第5地点では、平安時代の住居跡を2軒と時期不明の遺構の土坑2基、ピット20基を検出した。平安時代の住居跡のうち1軒は、規模を若干大きくし、カマド方向を変えて建替えを行った痕跡がみられた。また、別の住居跡からは紡錘車が出土した。</p> <p>宮台・宮原遺跡第14地点では、縄文時代早期の炉穴6群14基、古墳時代前期の住居跡1軒、平安時代の住居跡1軒を検出した。炉穴のほとんどは重複していた。古墳時代前期の住居跡では地床炉が検出され、出土遺物では、土師器高坏、器台が多く見受けられた。平安時代の住居跡は殆ど攪乱を受けていたが、北東壁にカマドを確認した。</p>							